



カレーライス



こぐまじゅんこ

ぼくは、カレーライスが大好きだ。

暑い夏に、ヒーヒー言いながら、辛いカレーを食べると汗がどっとふきだし、なんだかワイルドな男になった気がする。でも、つい、うっかりお母さんに、

「カレー、おいしいね。ぼく、大好きだよ。」

と言ってしまってから、お母さんは、毎日カレーを作りだした。

牛肉・じゃがいも・にんじん・たまねぎ、そして、バーモントカレーのルーでできたカレー。

うん、悪くはない。おいしい。

でも、次の日も、カレー。

「またカレー？ちょっと飽きたよ。」

というと、お母さんは、

「そうなの？」と言った。

次の日は、お母さんは、なんだかはりきって小麦粉とカレー粉を炒めて、カレーを作ってしまった。

そうじゃなくて・・・。

「どう？」

と聞いてくるお母さんに、

「まずくはないけど・・・。」

と答えた。

すると、次の日は、お母さんは楽しそうに、チョコレートを入れてカレーを作った。

そうじゃなくて・・・。

「どう？」

と聞いてくるお母さんに、また、ぼくは、

「まずくはないけど・・・。」

と、つぶやく。

次の日は、ハチミツを入れている。

そうじゃなくて・・・。

お母さん、どんどんいろんなことしてるけど、
ぼくが食べたいのは、ハンバーグなのに・・・。

また、次の日は、ヨーグルト入りカレー。

そうじゃなくて・・・。

オムライスが食べたいんだよ。

しかたなく、我慢してぼくは食べた。

まあ、お母さんが、ぼくの好きなものを食べさせたいという
気持ちは、わかっていたから。

そして、今晚。

お母さんのカレーをひと口食べて、

ぼくは驚いた。

まろやかで、コクがあって、今までこんなにおいしいカレーを食べたことがない。

「おかあさん、おいしいよ。このカレーは、最高においしいよ。」

ぼくは、2杯もおかわりをしてしまった。

そして、なんと今、お母さんはカレーのお店をひらいている。